

ほほえみ



Vol.75

院長よりご挨拶

余寒お見舞い申し上げます。

今年には正月から大きな災厄が続き、波乱含みのスタートとなりました。まずは、令和6年能登半島地震により、犠牲になられた方々に心よりお悔やみを申し上げると共に、被災された皆様ならびにそのご家族、関係者の皆様に対してお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今回の地震による被害は甚大であり、当院からも被災地の感染症蔓延予防のため、行政からの求めに応じて感染対策のエキスパートとして職員を派遣するなど可能な限りの支援を行っております。

さて、川崎病院では、良い医療、すなわち皆さんに満足いただける医療を提供し、信頼される病院となるよう日々努力いたしております。各診療科の医療機能の充実、チーム医療の推進、医療安全に十分配慮した診療に誠心誠意取り組み、地域医療へのさらなる貢献を目指し職員一丸となって鋭意努力を続けてまいります。そして、院内外の全般的な患者さんの支援業務、患者さんのケアに携わる多職種への研修・教育、院外における患者さん・地域の皆さんに向けた広報活動などに積極的に取り組んでいきたいと考えております。

本年も地域一番の患者さんの心に寄り添う病院を目指し、より多くの患者さんに満足していただける医療を提供できるよう職員一同、頑張っていきたいと考えております。今後とも川崎病院をよろしく願いいたします。

病院長 西村 元延



「団塊の世代」が皆、75歳以上の後期高齢者になる、いわゆる2025年問題がいよいよ来年に迫りました。国は10年以上前から、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、訪問看護、訪問リハビリ、訪問介護などのサービスとともに訪問診療など医療と介護の連携システムを推進してきました。この仕組みを用いて、高齢者が急な病気で入院しても、退院後は自宅での生活を支援する「治し、支える医療」の提供体制の構築が急がれますが、医療と介護の連携など地域間の格差がまだ大きいのが現状です。

川崎病院は、神戸市の中でも高齢化率の高い兵庫区で地域のニーズに合わせて、病院の機能を変化させる努力をしています。それは、「救急総合ケアシステム」の構築です。従来は、病院内だけであった患者さんへの医療提供活動を、介護分野の活動と密に連携するため在宅領域まで拡げます。川崎病院開設の精神「協同互助」の発揚です。当院では医師、看護師、MSW等の複数の専門職によって構成された“患者支援センター”による地域との連携に早くから取り組んでいます。また総合診療科を中心とした訪問診療も実施し、「協同互助」の精神のもとに介護分野における訪問看護・訪問リハビリ・訪問介護と円滑

な連携を行うことで、通院などの外出が困難な高齢者でも安心して自宅で療養が続けられます。急病が起きたら、ご家族はもとより訪問看護師等から病院に連絡が入り、往診または応急処置の投薬指示が行われます。夜間であれば救急搬送指示が出され、当院の専門医による診察と治療が受けられます。病状によっては、大学病院などの高度急性期病院への紹介入院となりますが、状態が落ち着けば川崎病院へ転院して頂き、病状に合わせ継続した治療やリハビリを受けることができます。かかりつけ医からの紹介で入院された患者さんは、退院後通院できる状態であれば、かかりつけ医で継続して診療を受けられるよう当院から引き継ぎを行います。

以上、川崎病院の「救急総合ケアシステム」では、地域に暮らす高齢者が、急病にかかった時に専門性を有する入院治療を提供し、退院後も住み慣れた自宅や施設で自分らしい暮らしを続けることを支援する「治し、支える医療」を実現するために、「協同互助」の精神をベースとした活動が継続されています。



NEW

在宅医療センターのご紹介

こんにちは。このたび、川崎病院の救急総合ケア推進本部の一部門として「在宅医療センター」ができました。このセンターでは訪問診療に関する業務を行っています。病院に通院するのが難しい方々に対して、住む場所に伺って診察を行います。採血、心電図、超音波などの検査や、お薬の処方、点滴、酸素吸入などもできます。

これまで外来に通っていたけれど足腰が弱って難しくなってきたという方や、癌や心不全といった病気のために通院が難しくなった方など、訪問診療をはじめの理由は様々です。中には、人生の最期を家で過ごすために、という方もいらっしゃいます。

訪問診療の頻度は患者さんの重症度に応じて月1回～数日ごとと様々です。生活をサポートするために訪問看護や訪問介護などをお願いすることも多く、地域に沢山



後列左から、松田Dr、松島Dr、長谷川Dr、武田Dr、
前列左から、安西Ns、宮田Ns、山下Dr、後藤ドクターズクラーク、中村Ns

ある事業所と連携をとっています。

訪問診療に関するご相談はいつでも受け付けておりますが、もともとかかりつけ医がいらっしゃる場合はまずそちらにご相談いただきますようお願いいたします。

(在宅医療センター センター長 松島 和樹)

かわさき健康講座開催のお知らせ

参加費
無料

一般の方向けの講演会を定期的で開催しています。どなたでもご参加いただけます。今回は、神戸市立婦人会館にて副院長の谷川隆彦医師による健康講座を開催します。

講演日	講演場所	講演内容	講師
3月21日(木) 14:30～	神戸私立婦人会館4階 「もくれん」	お腹の病気について 知っておきたいこと ～虫垂炎から消化器癌まで～	副院長 外科総括部長 谷川 隆彦

※要予約（問い合わせ先：神戸婦人会館078-351-0861）

ホームページにて講演会終了後のアンケートの結果を公開しています。これからも地域のみなさんのお声を大切に取り組んでまいります。



かわさき
健康講座の
ページはこちら



コノマチコノヒト 第2回

まちの憩いの場 コーヒーハウスYUME

東山商店街を北へ抜け、新湊川を越えた左手に見えるのが、青いテントが目印の「コーヒーハウスYUME」さんです。こちらは、就労継続支援B型事業所が運営するベーカリー&カフェ。今回は、こちらを営む「NPO法人ドリーム&YUME作業所」の小出さんをご紹介します。

●美味しいパンを届けたい

一歩足を踏み入るとあたたかな雰囲気が漂う店内。定番のあんパンやメロンパンに加えて季節のパンもたくさん並び、購入後にコーヒーと一緒に店内でいただくこともできます。「創業以来、一般のパン屋さんに負けない美味しいパンを販売することを大切にしてきました」と、小出さん。山崎製パン(株)より冷生地を仕入れ技術指導を受け店内で丁寧に手作りされています。おすすめの「塩バターパン」をいただくと、外はカリッと中はしっとり。バターの旨味と塩味がバランス良い味わいです。そのほか、「ファクトリーシン」から指導を受け柚子カップケーキの製造もされています。お持ち帰り用の袋もかわいいのでご注目！

●事業への想い

小出さんがこの事業をはじめられたのは、24年前。精神科病院の社会復帰病棟で看護師として勤務されていたときのこと。日本の入院医療制度が早期退院に切り替える施策へと変わり、長く入院されていた方も突如退院しなければならない状況下でした。しかし、退院指導を行っても患者さんの不安はぬぐい切れません。長期入院生活が背景にあり、衣食住に困ることも想定できます。そんななか「社会復帰できるために何が必要か」と考えたのが「就労に繋げる事業」。小出さんは、精神疾患をお持ちの方や支援が必要な方を「人との関係が苦手だけど優しい方」と目を細めて言います。なぜ事業所をしようと決断できたのかと尋ねると「看護師と二足の草鞋で大変だとわかっていましたが、退院指導の一環でボランティア活動や社会見学など様々な取り組みをしてきて、『小出さんが力になってくれるなら』と言ってみんな付いてきてくれたんです」と語ってくださいました。最終的に自立して一般企業などで働くことが目標ですが、ずっとYUMEさんで働きたいという方も多いそう。小出さんの「なんとかしてあげたい」と寄り添う気持ちが支援を必要とされている方々を支え、さらにお客さんにも伝わり、現在では街の憩いの場にまで発展しています。美味しいパンが食べたいとき、のんびりしたいとき、「コーヒーハウスYUME」さんへぜひお立ち寄りください。



写真一番左が小出さん

店舗情報

住所：〒652-0041 兵庫区湊川町3-5
営業時間 月～金：10:00～16:00

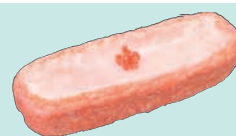
3月の
新作



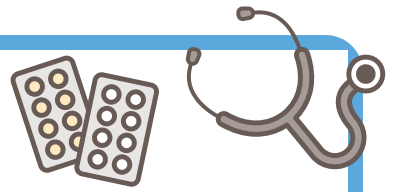
抹茶あんぱん



アスパラエッグロール



苺とチーズのデニッシュ



連携医療機関のご紹介

はまの医院



診療科目 内科・脳神経外科

院長 濱野 聖二(はまの せいじ)先生

電話 078-512-2247

住所 〒652-0012 湊山町7-10

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
17:00～19:00	○	×	×	×	○	×	×

メッセージ

川崎病院さんは地域に強い関心を向けられ、開業医の我々と同じ目線で「患者さんの背景を踏まえた診療」にあたられています。救急や専門的な検査・治療依頼の迅速な受け入れから、外部の我々も参加可能な勉強会の開催まで、大変ありがたく思っており、頼りにしています。地域医療のために、これからもしっかりと連携していきたいと思っています。

私は「ACP(人生会議)」の啓発活動をしており、定期的に勉強会も開催しています。患者さんには、「自分はどのように生きたいか」を十分に考えていただきたいと思っています。1月に能登で大きな地震がありました。あのような事があると、「毎日を大事に生きて、ある日何かが起こっても、自分らしく生きたと言える過ごし方をさせていただきたい」とより強く思います。患者さんご自身が「自宅で最期を迎えたい」というお気持ちであれば、少しでもお手伝いをさせていただきたいと思っておりますので、一度ご相談ください。

院長へ
プライベート
インタビュー

おすすめの お店

店名：ラーメンわ河馬(わかば)
住所：兵庫区石井町5-1-4
ジャンル：ラーメン店

おすすめポイント

「淡麗塩ラーメン」と天然コラーゲンたっぷりの「濃厚鶏白湯ラーメン」の2種類があり、どちらも美味。ガッツリいきたいときは、鶏白湯。あっさりしたい時は淡麗塩、と気分に合わせて楽しんでもらえます。

「歩いて学ぶ 糖尿病ウォークラリー」で 優勝!

2023年10月29日(日)に、しあわせの村(神戸市北区)で開催された「第27回兵庫県ウォークラリー大会～歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー～」(主催：(公社)日本糖尿病学会 兵庫県支部)に、患者さん3名と糖尿病チームの医療スタッフ3名が参加しました。

「糖尿病ウォークラリー」は、決められたコースを歩きながらチェックポイントごとにミニゲームに挑戦して得点を獲得したり、糖尿病に関するクイズを解いたりしながら楽しくゴールを目指す、というものです。「ゴールするまでの時間が、規定時間に近いほど得点が高くなる」というルールもあり、ただ歩くだけではない“野外レク



リエーション”となっています。

毎年各地で開催されるこのイベント。今回は、コロナ禍後4年ぶりの開催となり、十分に気合を入れて臨んだ結果、見事優勝することができました!

今後も川崎病院糖尿病チームは、院内外を問わず患者さんに寄り添ったサポートを行っていきたく考えています。糖尿病ウォークラリーへ皆さまのご参加を心よりお待ちしております!

川崎病院 糖尿病チーム

